

1. 内政

(1) 次期大統領選挙関連

(イ)5月3日、最高選管(CSE)は、当初6日に予定されていた各政党連携グループによる議員候補者リストの提出期限を急遽今月23日に変更した。

(ロ)5月17日、与党サンディニスタ(FSLN)は国会議員候補者リストを最高選管に提出した。

(ハ)5月20日、共和国のための同盟(APRE)の大統領候補であったミゲル・アンヘル・ガルシア元教育大臣が立候補を辞退した。

(ニ)5月23日、PLC、PLI-UNEグループ、ALN、APREの各党・グループが国会議員候補者リストを最高選管に提出した。

(ホ)5月25日、Cid-Gullup社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

○現時点でどの大統領候補に投票するか。

オルテガ候補(FSLN)	38%
ガデア候補(PLI-UNE)	28%
アレマン候補(PLC-PC)	14%
キニヨネス候補、他(ALN、APRE)	4%
無回答	17%

(ヘ)6月2日、最高選管は県レベルに該当する地方選管(CED)及び地域選管(CER)の委員を任命した。

(ト)6月2日、共和国のための同盟(APRE)はミゲル・アンヘル・ガルシア元教育大臣の代わりに、ロヘル・ゲバラ・メナ氏を大統領候補に擁立した。

(チ)6月17日、最高選管は市選管(CEM)の委員を任命した。

(リ)6月20日、カーターセンターの選挙監視事前ミッションが当地を訪問し、野党や市民団体の関係者と意見交換を行ったが、政府及び最高選管関係者とは会合がなかった。

(2) その他内政一般

(イ)5月13日、エル・ラマ市、ヌエバ・ギネア市、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス市は、現在所属している南大西洋自治地域(RAAS)から独立し、新たに中央セラヤ県(Departamento de Selaya Central)を独自に形成すべく、今後国会等に対して働きかけを行う旨表明した。

(ロ)5月14日、当地最大銀行BANPROの頭取であるラミロ・オルティスは、当地主要紙であり経営難にあったエル・ヌエボ・ディアリオ紙を買収する旨発表した。

(ハ)5月16日、社会保険庁(INSS)は、年金掛金納付期間の倍増や同支給開始年齢の引き上げ、及び、年金支給額の増加を主要な内容とする社会保障改革案を発表した。しかし、国会や財界は同案の成立に対し消極的な見通しを示した。

(ニ)5月24日、提出された国会議員候補者リストの内容が党大会の決定と異なるとして、保守党(PC)の一部が執行部を批難した。その後、党内では深刻な分裂が起こっている。

(ホ)6月3日、ALNは青少年法の改正法案を国会に提出した。

(ヘ)6月9日、国会は「マイクロファイナンス振興・規制法案」を可決した。

(ト)6月10日、オルテガ大統領は国会に対して2010年度の国政報告書を提出した。

(チ)6月13日、アレハンドロ・ソロルサノ中米議会議員(PLI-UNEグループの次期中米議会議員候補者)は、米国に入国した際に過去に資金洗浄に関わった疑いがあるとしてFBIにより身柄を拘束された。

(リ)6月15日、政府は昨今の国際的な原油価格高騰に伴い国内エネルギー消費価格を41.8%上昇させる旨発表した。同時に、今年中はオルテガ大統領ファミリー企業であるアルバグループが補助金をもって右上昇幅を吸収するとした。

(ヌ)6月25日、オルテガ大統領とFSLN党員は毎年恒例のマサヤへの行進を行った。

2. 外交

(1)5月1日、オルテガ大統領はカダフィ・リビア最高指導者の家族の死に対する弔意を表明した。

(2)5月4日、国際司法裁判所(ICJ)は「領土及び海洋紛争」事件(ニカラグア対コロンビア)に関し、コスタリカ及びホンジュラスによる訴訟参加申請を却下した。

(3)5月5日、グアテマラにおいてニカラグアとコスタリカは国境における治安や麻薬・組織犯罪対策に関する二国間会合を実施した。同会合には、グアテマラ及びメキシコが仲介者として参加した。

(4)5月6日、オランダ政府はニカラグアから徐々に援助を撤退する旨発表した。

(5)5月12日、ベネズエラ政府はマリア・アレハンドラ・アビラを駐ニカラグア新大使として任命した。

(6)5月18日から20日まで、マナグアにおいてサンパウロ・フォーラムが開催された。同フォーラムには、マドゥーロ・ベネズエラ外相やルーラ前伯大統領が参加した他、中南米から多くの左派政党代表が参加した。会合では出席者からオルテガ大統領が推進する社会改革への支持が表明された。

(7)5月21日、ニカラグアは人権理事会理事国選挙で落選した。

(8)5月22日、マナグアにて中米4ヶ国首脳会合(CA-4)が開催され、オルテガ大統領、コロン・グアテマラ大統領、フネス・エルサルバドル大統領、ロボ・ホンジュラス大統領及びオブザーバーとしてセラヤ前ホンジュラス大統領、マドゥーロ・ベネズエラ外務大臣が出席した。同会合では、ホンジュラスの国際機構復帰及びニカラグア・ホンジュラス関係正常化を始めとした3つの事項が合意された。

(9)5月26日、コスタリカ政府はアドリアナ・プラド駐エルサルバドル・コスタリカ大使を次期駐ニカラグア大使として任命する旨発表した。

(10)5月29日、オルテガ大統領はマナグア空港にてホンジュラスに帰国するセラヤ前大統領を見送った。

(11)5月29日、オルテガ大統領はセルゲイ・バガプシュ・アブハジア自治共和国大統領の死去に際し、弔意を表明した。

(12)6月1日、サントス大統領は訪日し、MDGsフォローアップ会合に出席した他、東日本大震災の被災地である東北地方を訪問した。また、外務省山花政務官とも会談した。

(13)6月3日、スペイン政府はレオン・デ・ラ・トーレ・クライス氏を次期駐ニカラグア大使として任命する旨発表した。

(14)6月4日、ルイス・モレノIDB総裁がニカラグアを訪れ、オルテガ大統領とともに当地IDB事務所開所式等に出席した。

(15)6月5日から7日まで、デニス・モンカダ国連大使を団長とするニカラグア代表団が第41回

米州機構総会に出席した。

(16)6月16日、ニカラグアは米国と移民労働者保護に関する協定に署名した。同協定に基づき、両国は移民労働者に対する情報提供を強化することになった。

(17)6月21日、イングリッド・シン新台湾大使はサントス外務大臣に信任状の真正な写しを提出した。

(18)6月22日、オルテガ大統領はグアテマラにて開催された中米治安会議に出席した。

(19)6月26日、コスタリカ政府は3月8日に国際司法裁判所により決定された仮保全措置をニカラグアが遵守していないとして同裁判所に訴えを申し出た。コスタリカ政府によれば、サンファン河流域のハーバーヘッド地域にニカラグア人が侵入している由。

(20)6月30日、サントス外務大臣はギリシャを訪問して、パプリアス大統領他と会談を行い、両国の関係改善につき協議した。

(21)6月30日、当地ノルウェー大使館は領事業務を行う事務所のみを残して閉鎖した。